

協働のまちづくり活動支援事業・自己評価票

団体の概要	団体（グループ）名	特定非営利活動法人つながり
	代表者職・氏名	理事長 久保田 直樹
	記入者職・氏名	理事長 久保田 直樹
	団体の分類（主な活動分野）	子育て支援
実施事業の内容	実施事業名	親子パン教室
	1 事業目的 誰を（何を）対象に、どのような地域課題やニーズに対し実施したのか	家族だけで子育てしている現代。つながりが少なく、悩みを抱え、孤立している家庭も多い。全員共通の食を通じて、親同士、子供同士つながりを作っていきたい。
	2 事業概要 事業内容、実施方法、事業実施時期等のスケジュール（日時・場所・回数・人数など）	・場所：江別市総合社会福祉センター 大広間 ・日時：6/9(8家族)、8/4(7家族)、10/20(7家族)、全3回 1・2回目は午前9:30～11:30、3回目は9:30～13:00 ・内容：外部講師を招き、親子パン教室を開催。1回だけでは、つながりを作ることは難しい為、3回シリーズで行い関係性を密にする目的で実施。赤ちゃん連れでも参加しやすいように、カーペット敷きの部屋で行った。3回目は、つながりを密にする目的で、昼食をみんなで一緒に食べ交流を図った。
活動成果・自己評価	1 団体の専門性、独創性を発揮したところ (うちの団体だからこそ、これができたというアピール)	法人が、こどもたちの未来のために活動している団体であり、そこに共感して集まった社員であること。また、社員が、子育て世代、福祉関係者が多い事から、子育て中のママの気持ちを理解し、寄り添える事業運営を行うことが出来る。
	2 事業の効果について (どんなところが地域の公共的な課題の解決に役立ったか、市民的な広がりや地域の活性化につながったかなど)	パン作りと子育てという共通の興味関心事で集まる事により、新たなつながりが生まれやすくなる。この場をきっかけにして、外に出掛ける機会が増えることにより、様々な人と繋がっていく。仲間が出来ることで些細な悩みが減り、ママが笑顔になることで、こどもたちの幸せにもつながっていく。
	3 事業目的を達成できたか (どのように達成したのか)	親子パン教室に参加した方同士、SNSでつながり、共通の知人の話で盛り上がる様子があつたり、親子パン教室参加後、当法人の集いの場「ママの夜会」に来てくれた親子もいた。子育て支援団体の方も参加されており、その集いの場に参加した親子もいたようである。
	4 事業の継続性 (来年度以降の展望について)	申し込みを開始して毎回、1、2週間程度で満員になったことから、親子パン教室は興味関心が高いと思われる。来年度も、親子パン教室、ママの夜会に限らず、つながりを目的とした事業を継続展開していく。
	5 自由記入欄 (反省点、事業への意見など)	毎回、すぐに定員に達してしまった為、キャンセル待ちの方もいた。講師の教えられる限界もあり、定員は変えられない為、どのような形が最適なのか検討する必要があると感じた。

特定非営利活動法人つながり

第1回親子パン教室



第2回親子パン教室



第3回親子パン教室

